

特別展「第 67 回日本伝統工芸展」の開催について

〔令和 3 年 1 月 19 日〕
〔文化芸術課〕

1 要 旨

広島県立美術館において、令和 3 年 2 月 17 日（水）から令和 3 年 3 月 7 日（日）までの間、特別展「第 67 回日本伝統工芸展」を開催する。

2 特別展の概要

人間国宝（重要無形文化財保持者）から新進気鋭の若手まで、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の 7 部門にわたり、日本を代表する作家の作品約 280 点を紹介する。
なお、広島県からは 10 名の作家の作品が入選している。

（1）会 期 令和 3 年 2 月 17 日（水）から令和 3 年 3 月 7 日（日）まで
（19 日間、会期中無休）

（2）開館時間 9：00～17：00（金曜日は 19：00 まで開館、入場は閉館の 30 分前まで）

（3）入館料 一般 700 円、高・大学生 400 円、中学生以下無料

※前売り・20 名以上の団体は当日料金より 200 円引き

3 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

来館者に対し、入館時の体温確認、マスクの着用、手指アルコール消毒、展示室内でのソーシャルディスタンスの確保を依頼することに加え、AI カメラを活用した混雑状況の発信を「広島県立美術館HP」や広島県観光HP「ひろしま観光ナビ」でリアルタイムに行うことで、安心して来館できる環境を提供する。

4 縮景園との連携

本展入館券の提示により、縮景園に 100 円で入園できる。